

奈良御園菘、茄子、蘿蔔○中略 奈美同前

〔三代實錄陽成四十二〕元慶六年十二月廿一日己未、勅略○中久世郡栗前野美豆野、奈良野略○中 天長年

中既禁縱禽、今重制斷山川之利、藪澤之生、與民共之、莫妨農業、但至于北野、不在此限也。

〔山城名勝志十八〕那羅鄉略○中

古文書云、賣渡進作手島、新立券文事合壹段者、在奈右、伴島、元者中原氏二女之相傳私領也、略○中但領家者賀茂

御領地物芋伍升、追年無懈怠、可辨進。

文永六年六月十七日

賣人中原氏女
嫡男紀

〔山城名勝志十八〕水主鄉和名抄云久世郡、土人呼水主村、今入綴喜郡云々、在下津屋東南川端

〔三代實錄清和十三〕貞觀八年十一月廿日辛酉、進山城國從一位勳二等松尾神階加正一位、授從四位

下水主神從四位上、

〔山城名勝志十八〕那羅鄉和名抄云、久世郡

〔山城名勝志十八〕栗隈鄉和名抄云、久世郡

〔日本書紀仁德十一〕十二年十月、堀大溝於山背栗隈縣、以潤田、是以其百姓每豐年也。

〔日本書紀推古二十三〕十五年、是歲冬、山背國堀大溝於栗隈。

〔大和物語上〕おなじ女のもとに、さらにをともせで、きじをなんおこせたまへりける返事に、

くりこまのやまにあさたつきじより、もかりにはあはじとおもひしものを

〔山城名勝志十八〕富野鄉和名抄云久世郡、長池町西有富野村、土人云、長池町元自富野村出在家也

古文書云、山城國富野鄉內南村、於當村之散在者、舍兄備前守政清于時通世、避狀炳焉之上、早彼一

村同散在田島、彌可被領知。

文明十八年十一月廿三日

散位加賀守